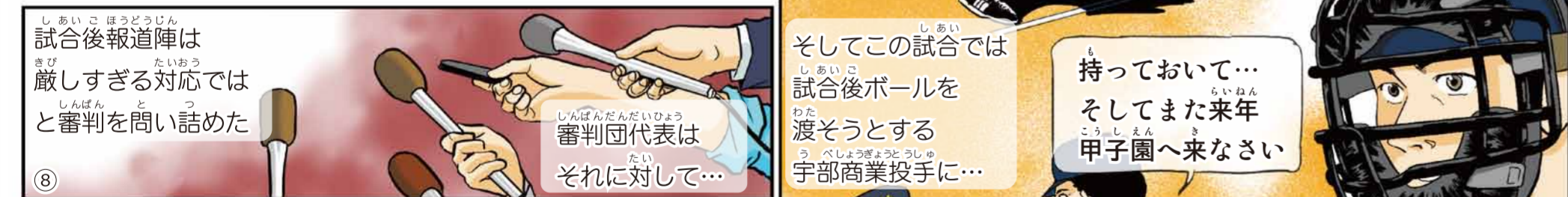


FAIRPLAY NEWS

フェアプレイで
日本を元気に
あくしゅ、あいさつ、ありがとう



審判のまなざし



オリンピックへの道

じゅう どう 柔道

こん どう あ み せんしゅ 近藤亜美選手

負けた試合をひたすら見て、弱気になった気持ちを奮い立たせる。

世界選手権で昨年は金メダル、今年は銅メダルを獲得した近藤選手。5歳で柔道を始めてすぐに試合に出場し、その時負けた悔しさは今でも覚えているそうです。小学校5年生の時、道場の先輩である谷本選手がアテネオリンピックで獲得した金メダルを持って来ました。近藤選手が「これ、私もほしい」と言う、「自分でとりな」と谷本選手。その日からオリンピックが目標になったそうです。でも、私には無理だと弱気になってしまうことも。そんな時は自分の負けた試合をひたすら見るそうです。こんな情けない試合をしたまま辞めて

ていいの。そう思い、気持ちを奮い立たせて練習に励んでいます。



ひざタッチ



日本体育協会「アクティブ・チャイルド・プログラム」より

フェアプレイ語録



「後悔する。弱音も吐く。でも必ず前を向く。」
田臥勇太(プロバスケット選手)
身長173cmとバスケット選手としては小柄でありながら、日本人初のNBAプレーヤーとなった田臥選手。試合に出られない時があっても、前向きに挑み続けた。

